

運用報告書 (全体版)

第7期<決算日2020年7月13日>

新光バンクローン・ファンド・ネオ (円ヘッジ型)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/その他資産 (バンクローン)	
信託期間	2013年7月12日から2023年7月11日まで。	
運用方針	投資信託証券を主要投資対象として、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	投資信託証券。
	ウエスタン・アセット・バンクローン (オフショア) ファンド-JPYヘッジ・クラス 日本短期公社債マザーファンド	米ドル建ての企業向けバンクローン (貸付債権)。 本邦通貨建ての公社債。
運用方法	以下の投資信託証券を通じて、主として米ドル建ての企業向けバンクローン (貸付債権) に実質的な投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 ケイマン諸島籍外国投資信託 ウエスタン・アセット・バンクローン (オフショア) ファンド-JPYヘッジ・クラス (以下「WAローン・ファンド」といいます。) 円建受益証券 内国証券投資信託 (親投資信託) 日本短期公社債マザーファンド受益証券 各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市況動向等を勘案して決定するものとし、WAローン・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。	
組入制限	当ファンド	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
	日本短期公社債マザーファンド	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。分配金額は、上記分配対象収益範囲のうち原則として利子・配当等収益を中心に、基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「新光バンクローン・ファンド・ネオ (円ヘッジ型)」は、2020年7月13日に第7期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

新光バンクローン・ファンド・ネオ (円ヘッジ型)

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S&P/LSTAレバレッジド・ローン・インデックス		投資信託 組入比率	債券組入 比率	純資産額
	(分配落)	税金 込み	騰落 中率	(参考指数)	騰落 中率			
3期 (2016年7月11日)	円 9,665	円 0	% △4.0	2,560.85	% 1.2	% 96.9	% 0.1	百万円 2,470
4期 (2017年7月11日)	10,104	10	4.6	2,745.68	7.2	97.8	—	2,000
5期 (2018年7月11日)	10,141	10	0.5	2,869.60	4.5	96.5	—	1,465
6期 (2019年7月11日)	10,114	10	△0.2	2,982.17	3.9	97.2	0.3	1,120
7期 (2020年7月13日)	9,451	0	△6.6	2,932.83	△1.7	97.2	0.5	696

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注4) S&P/LSTAレバレッジド・ローン・インデックスは、米ドル建てのバンクローンを対象として、S&Pが定める一定の条件を満たしている銘柄によって構成される指数です。

(注5) S&P/LSTAレバレッジド・ローン・インデックスは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズLLCまたはその関連会社は、いかなる指数の資産クラスまたは市場セクターを正確に代表する能力に関して、明示または黙示を問わずいかなる表明または保証もしません。また、S&P/LSTAレバレッジド・ローン・インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません (以下同じ)。

(注6) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

■当期中の基準価額と市況の推移

年月日	基準価額		S&P/LSTAレバレッジド・ローン・インデックス		投資信託 組入比率	債券組入 比率
	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)		
(期首) 2019年7月11日	円 10,114	% —	2,982.17	% —	% 97.2	% 0.3
7月末	10,134	0.2	2,997.29	0.5	96.4	0.4
8月末	10,097	△0.2	2,988.95	0.2	96.9	0.4
9月末	10,118	0.0	3,002.72	0.7	97.6	0.4
10月末	10,004	△1.1	2,991.35	0.3	96.7	0.4
11月末	10,026	△0.9	3,006.97	0.8	96.9	0.4
12月末	10,099	△0.1	3,054.45	2.4	97.5	0.4
2020年1月末	10,160	0.5	3,074.24	3.1	97.9	0.4
2月末	10,079	△0.3	3,052.74	2.4	96.4	0.4
3月末	8,759	△13.4	2,605.15	△12.6	96.0	0.3
4月末	9,135	△9.7	2,773.97	△7.0	96.2	0.6
5月末	9,337	△7.7	2,874.35	△3.6	96.4	0.5
6月末	9,416	△6.9	2,916.86	△2.2	97.0	0.5
(期末) 2020年7月13日	9,451	△6.6	2,932.83	△1.7	97.2	0.5

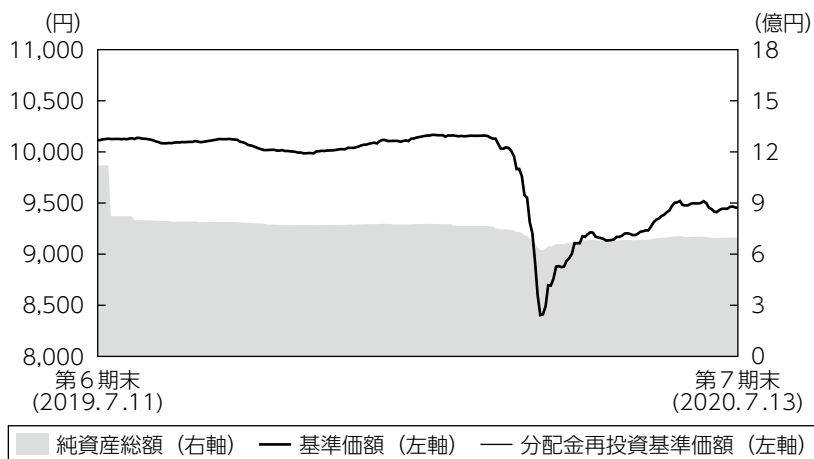
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■当期の運用経過（2019年7月12日から2020年7月13日まで）

基準価額等の推移



第7期首：10,114円
第7期末：9,451円
(既払分配金0円)
騰落率：△6.6%
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

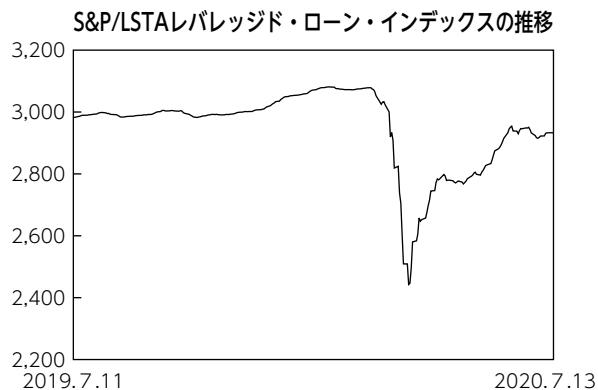
基準価額の主な変動要因

主として米ドル建ての企業向けバンクローンに実質的な投資を行い、また対円で為替ヘッジを行うことで為替変動リスクの低減を図りました。このような運用を行った結果、当期間における基準価額は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大などにより、バンクローン市場が下落した影響を主因に下落しました。

投資環境

●バンクローン市場

バンクローン市場は下落しました。2019年中は、緩やかな米国経済の成長や株式市場の上昇などにより、市場は上昇しました。しかし、2020年2月以降、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大と世界各国での都市封鎖、原油価格の急落などを受け、市場は大幅に下落しました。その後、感染拡大がピークアウトし都市封鎖が緩和され、経済活動が再開するとともに、市場も回復に向かいましたが、期を通じては下落となりました。



●国内短期金融市場

残存1年程度の日本国債の利回りについては、日銀の金融緩和の影響もあり、マイナス圏で推移しました。

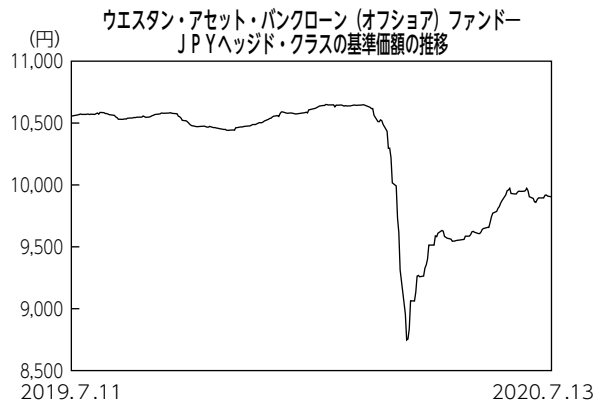
ポートフォリオについて

●当ファンド

運用方針に従い、ウエスタン・アセット・バンクローン（オフショア）ファンドーJ P Yヘッジド・クラス（以下「WAローン・ファンド」）の高位組み入れを継続するとともに、日本短期公社債マザーファンドを組み入れました。また、実質的に対円で為替ヘッジを行うことで為替変動リスクの低減を図りました。

●WAローン・ファンド

信用格付け別ではB格を中心にし、また業種別では消費者関連、テクノロジーセクター等を中心としたポートフォリオを構築しました。これに加えて、市場動向を考慮しつつ、リスクに見合ったリターンを追求し、銘柄の取捨選択を行いました。



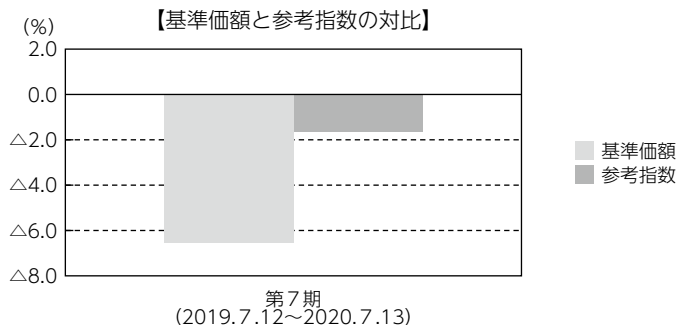
●日本短期公社債マザーファンド

主として円建ての公社債に投資することにより安定した収益の確保を目指し、短期公社債を中心に投資を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは基準価額と参考となるS&P/LSTAレバレッジド・ローン・インデックスとの騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税引前) 込みです。

分配金

収益分配金につきましては基準価額水準等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳 (1万口当たり)

項目	当期
	2019年7月12日 ~2020年7月13日
当期分配金 (税引前)	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	57円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金 (税引前)」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金 (税引前)」の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益 (含、評価益)」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

今後とも運用方針に従いWAローン・ファンドおよび日本短期公社債マザーファンドの投資を継続し、高水準のインカムゲインの確保を目指して運用を行います。

●WAローン・ファンド

世界経済は、足元、新型コロナウイルスの感染第2波への懸念があるものの、各国当局の対策に加え、漸進的に経済活動が再開されたことなどもあり、中長期的に景気は回復に向かうと考えています。

格付け別ではB格を中心とし、セクター別では、景気の影響を受け易くボラティリティ上昇が懸念される資源エネルギーセクターなどを低位としつつ、消費者関連セクター、テクノロジーセクターなどを中心としたポートフォリオを維持します。

●日本短期公社債マザーファンド

引き続き短期公社債などを中心に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、市場環境によっては、目標とする運用ができない場合があります。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第7期		項目の概要
	(2019年7月12日 ～2020年7月13日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	63円	0.639%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,795円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(38)	(0.386)	
(販売会社)	(22)	(0.220)	
(受託会社)	(3)	(0.033)	
(b) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.003 (0.003)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	63	0.642	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

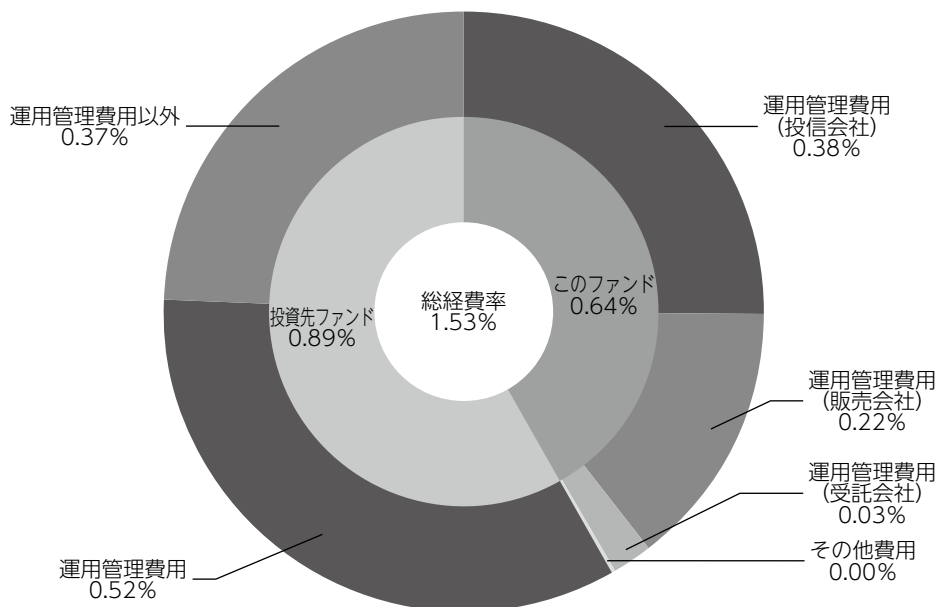
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.53%です。



総経費率 (①+②+③)	1.53%
①このファンドの費用の比率	0.64%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.52%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.37%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況 (2019年7月12日から2020年7月13日まで)

投資信託受益証券

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 邦貨建	千□	千円	千□	千円
ウエスタン・アセット・バンクローン (オフショア) ファンドーJPYヘッジド・クラス	—	—	349,007.914	369,000

(注) 金額は受渡代金です。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2019年7月12日から2020年7月13日まで)

期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■利害関係人との取引状況等 (2019年7月12日から2020年7月13日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	期首(前期末)	当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
	千□	千□	千円	%
ウエスタン・アセット・バンクローン (オフショア) ファンドーJPYヘッジド・クラス	1,032,315.006	683,307.092	676,747	97.2
合 計	1,032,315.006	683,307.092	676,747	97.2

(注) 比率欄は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	期 首 (前期末)	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
日本短期公社債マザーファンド	5,069	5,069	5,089

■投資信託財産の構成

2020年7月13日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	676,747	96.7
日本短期公社債マザーファンド	5,089	0.7
コール・ローン等、その他	17,798	2.5
投資信託財産総額	699,636	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年7月13日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	699,636,171円
コール・ローン等	17,798,878
投資信託受益証券(評価額)	676,747,343
日本短期公社債マザーファンド(評価額)	5,089,950
(B) 負 債	3,204,626
未 払 解 約 金	914,846
未 払 信 託 報 酬	2,279,216
そ の 他 未 払 費 用	10,564
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	696,431,545
元 本	736,888,502
次 期 繰 越 損 益 金	△40,456,957
(D) 受 益 権 総 口 数	736,888,502口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額(C/D)	9,451円

(注) 期首における元本額は1,108,056,468円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は371,167,966円です。

■損益の状況

当期 自 2019年7月12日 至 2020年7月13日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△12,515円
受 取 利 息	454
支 払 利 息	△12,969
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△44,037,862
売 買 損 益	928,326
売 買 損 益	△44,966,188
(C) 信 託 報 酬 等	△4,842,699
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△48,893,076
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	880,726
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	7,555,393
(配 当 等 相 当 額)	(2,134,164)
(売 買 損 益 相 当 額)	(5,421,229)
(G) 合 計(D+E+F)	△40,456,957
次 期 繰 越 損 益 金(G)	△40,456,957
追 加 信 託 差 損 益 金	7,555,393
(配 当 等 相 当 額)	(2,134,164)
(売 買 損 益 相 当 額)	(5,421,229)
分 配 準 備 積 立 金	2,121,518
繰 越 損 益 金	△50,133,868

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収 益 調 整 金	2,134,164
(d) 分 配 準 備 積 立 金	2,121,518
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	4,255,682
(f) 1 万 口 当 たり 当 期 分 配 対 象 額	57.75
(g) 分 配 金	0
(h) 1 万 口 当 たり 分 配 金	0

■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては基準価額水準等を勘案し、無分配とさせていただきます。

ウエスタン・アセット・バンクローン (オフショア) ファンド － J P Yヘッジド・クラス

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

形 態	ケイマン諸島籍外国投資信託／円建受益証券
運 用 方 針	主として米ドル建ての企業向けバンクローン（貸付債権）に投資することで、インカム収入の確保を目指して運用を行います。 原則として、対円で為替ヘッジを行います。
主 な 投 資 制 限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原則として、純資産総額の80%以上をバンクローンに投資します。 ・ 原則として、純資産総額の15%を上限に米ドル建ての高利回り社債などに投資する場合があります。 ・ 同一発行体のバンクローン、有価証券への投資割合は、原則として純資産総額の5%以内とします。 ・ 有価証券の空売りは行いません。 ・ 流動性の低い有価証券への投資は、純資産総額の15%を上限とします。 ・ 純資産総額の10%を超える借り入れは行わないこととします。
決 算 日	12月末
関 係 法 人	管理会社：ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・リミテッド 投資顧問会社：ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシー 副投資顧問会社： ウエスタン・アセット・マネジメント株式会社（東京） ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・ピーティーイー・リミテッド（シンガポール） ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・ピーティーワイ・リミテッド（メルボルン） ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・DTVM・リミターダ（サンパウロ） 受託会社兼管理事務代行会社：BNYメロン・ファンド・マネジメント（ケイマン）リミテッド 副管理事務代行会社：ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン 保管受託銀行：ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン 登録機関兼名義書換代理人：ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン シンガポール支店
信 託 報 酬 等	純資産総額に対し年率0.535%程度 上記料率には、管理会社、投資顧問会社、副投資顧問会社、受託会社兼管理事務代行会社、保管受託銀行ならびに副管理事務代行会社への報酬が含まれます。ただし、これらの報酬の中には取引頻度に応じた額が設定されているものがあるため、取引頻度などにより上記料率を上回る場合があります。

ウエスタン・アセット・バンクローン（オフショア）ファンドは外国投資信託で、2019年12月31日に会計期間が終了し、現地の公認会計士による財務諸表監査を受けて完了しています。以下の「損益計算書」および「資産・負債計算書」は、2019年12月31日現在の財務諸類の原文の翻訳を抜粋したものです。なお、「ウエスタン・アセット・バンクローン（オフショア）ファンドーJ P Yヘッジド・クラス」は、「ウエスタン・アセット・バンクローン（オフショア）ファンド」の個別クラスとなっております。

ウエスタン・アセット・バンクローン（オフショア）ファンドの内容

(1) 損益計算書

2019年12月31日に終了した年度

	米ドル
投資利益	
利息	4,046,449
費用	
管理会社	416,969
ローン・サービシング	139,512
保管	74,126
専門家	69,475
管理事務代行、会計代行および名義書換代理人	18,015
受託会社	8,221
その他	27,157
費用合計	753,475
投資純利益	3,292,974
投資、外貨換算および外貨建取引、デリバティブ取引に係る実現・未実現純利益（損失）	
実現純利益（損失）	
投資	(1,893,603)
外貨建取引	1,053
先物契約	(4,385)
為替予約	(460,631)
実現純（損失）	(2,357,566)
未実現利益（損失）の純変動額	
投資	5,357,951
先物契約	3,968
為替予約	127,245
アンファンデッド取引	24,482
未実現利益（損失）の純変動額	5,513,646
投資、外貨換算および外貨建取引、デリバティブ取引に係る実現・未実現純利益（損失）	3,156,080
運用による純資産の純増加額	6,449,054

(2) 資産・負債計算書

2019年12月31日現在

	米ドル
資産	
投資有価証券、公正価値（取得原価42,178,967米ドル）	41,468,304
現金同等物	1,596,191
投資売却未収入金	8,884,391
未収利息	217,772
為替予約に係る未実現利益	157,590
アンファンデッド取引に係る未実現利益	2,113
その他資産	2,752
資産合計	<u>52,329,113</u>
負債	
投資購入未払金	4,841,085
未払管理会社報酬	76,039
未払費用	243,506
負債合計	<u>5,160,630</u>
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産	<u>47,168,483</u>
AUDクラス	
5,046,776米ドル／74,457口	<u>67.781</u>
JPYヘッジド・クラス	
6,943,710米ドル／713,454,976口	<u>0.010</u>
USDクラス	
35,177,997米ドル／387,834口	<u>90.704</u>

(3) 組入上位銘柄

2019年12月31日現在

銘柄名	通貨	比率
EXCELSIOR MERGER SUB LLC VETPRO TL 1L USD	アメリカ・ドル	1.5%
EDELMAN FINANCIAL CENTER EF TL 2L USD	アメリカ・ドル	1.5
KWOR ACQUISITION INC WORCLA TL 1L USD	アメリカ・ドル	1.5
PLUTO ACQUISITION I INC ACCARE TL 1L USD	アメリカ・ドル	1.5
BASS PRO GROUP LLC BASSPR TL B 1L USD	アメリカ・ドル	1.5
GLOBAL TEL*LINK CORP GLOLIN TL 1L USD	アメリカ・ドル	1.3
US ANESTHESIA PARTNERS USANES TL B 1L USD	アメリカ・ドル	1.3
EG AMERICA LLC OPTFIN TL B 1L USD	アメリカ・ドル	1.3
KESTRA ADVISOR SERVICES KESTRA TL 1L USD	アメリカ・ドル	1.2
LESLIE'S POOLMART LESL TL B 1L USD	アメリカ・ドル	1.2
組入銘柄数	133銘柄	

(注1) 比率は、ウエスタン・アセット・バンクローン（オフショア）ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシーのデータをもとにアセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

日本短期公社債マザーファンド

運用報告書

第11期（決算日 2020年7月3日）

（計算期間 2019年7月4日～2020年7月3日）

日本短期公社債マザーファンドの第11期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則、無期限です。
運用方針	主として本邦通貨建ての公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指した運用を行います。
主要投資対象	本邦通貨建ての公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

■最近3期の運用実績

決算期	基準価額	期騰落中率		債組入比率	債先物比率	純資産額
		期騰	落中率			
9期(2018年7月3日)	円 10,050	% △0.06	% -	% -	% -	百万円 58
10期(2019年7月3日)	10,041	△0.09	61.2	-	-	49
11期(2020年7月3日)	10,040	△0.01	74.1	-	-	49

(注1) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

(注3) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

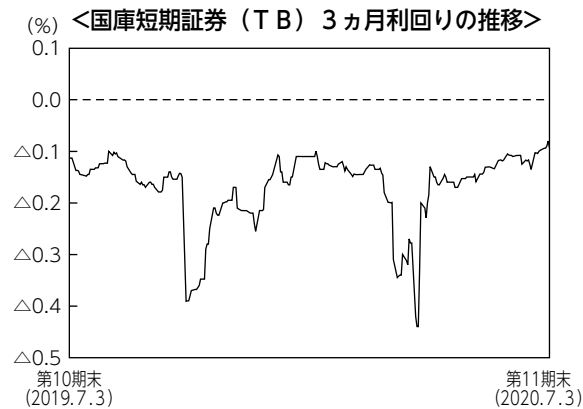
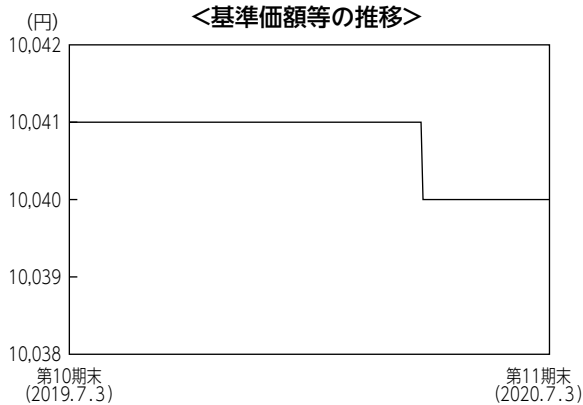
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2019年 7 月 3 日	円 10,041	% -	% -	% 61.2	% -
7 月 末	10,041	0.00	-	61.2	-
8 月 末	10,041	0.00	-	61.1	-
9 月 末	10,041	0.00	-	61.0	-
10 月 末	10,041	0.00	-	61.0	-
11 月 末	10,041	0.00	-	60.9	-
12 月 末	10,041	0.00	-	60.8	-
2020年 1 月 末	10,041	0.00	-	60.8	-
2 月 末	10,041	0.00	-	60.7	-
3 月 末	10,040	△0.01	-	33.3	-
4 月 末	10,040	△0.01	-	74.2	-
5 月 末	10,040	△0.01	-	74.1	-
6 月 末	10,040	△0.01	-	74.1	-
(期 末) 2020年 7 月 3 日	10,040	△0.01	-	74.1	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2019年7月4日から2020年7月3日まで）



※国庫短期証券（TB）3ヵ月利回りの低下は価格の上昇を示し、逆の場合は下落したことを示します。

基準価額の推移

当ファンドの基準価額は、前期比で0.01%下落しました。

基準価額の主な変動要因

基準価額の変動要因として保有債券からの利息収入などのプラス要因はありましたが、マイナス金利による影響が大きく前期末比で基準価額は低下しました。

投資環境

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは日銀の金融緩和政策の影響からマイナス圏で推移しました。日銀が黒田総裁の第2期就任以降も「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を続けており、国債利回りには低下圧力がかかっていることが要因となりました。

ポートフォリオについて

残存期間の短い公社債などで運用を行いました。

今後の運用方針

引き続き短期公社債などを中心に投資を行い、安定した収益の確保を目指します。市場環境によっては、目標とする運用ができない場合があります。

■ 1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

■ 売買及び取引の状況 (2019年7月4日から2020年7月3日まで)

公社債

			買 付 額	売 付 額
			千円	千円
国	内	地方債証券	36,712	— (30,000)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2019年7月4日から2020年7月3日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
地 方 債 証 券	千円 36,450	千円 36,644	% 74.1	% 40.8	% -	% -	% 74.1
合 計	36,450	36,644	74.1	40.8	-	-	74.1

(注1) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 無格付銘柄については、B B格以下に含めて表示しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘 柄	当 期			末
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
(地方債証券)	%	千円	千円	
27年度1回 あいち県民債	0.1000	16,450	16,459	2021/02/26
96回 共同発行市場公募地方債	1.2900	20,000	20,184	2021/03/25
小 計	-	36,450	36,644	-
合 計	-	36,450	36,644	-

■投資信託財産の構成

2020年7月3日現在

項 目	当 期		末
	評 価 額	比	率
公 社 債	千円 36,644		% 74.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	12,827		25.9
投 資 信 託 財 産 総 額	49,471		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年7月3日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	49,471,465円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	12,730,359
地 方 債 証 券(評価額)	36,644,236
未 収 利 息	66,223
前 払 費 用	30,647
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	49,471,465
元 本	49,276,288
次 期 繰 越 損 益 金	195,177
(D) 受 益 権 総 口 数	49,276,288口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,040円

(注1) 期首元本額 49,276,288円
追加設定元本額 0円
一部解約元本額 0円

(注2) 期末における元本の内訳

短期ハイイールド債券ファンド (ヘッジあり)	995,620円
バンクローン・ファンド (ヘッジなし)	15,905,959円
バンクローン・ファンド (ヘッジあり)	13,922,043円
新光バンクローン・ファンド・ネオ (円ヘッジ型)	5,069,672円
バンクローン・ファンド (ヘッジなし/年1回決算型)	1,093,509円
バンクローン・ファンド (ヘッジあり/年1回決算型)	99,473円
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド10月号	3,976,144円
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド11月号	994,036円
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド12月号	497,018円
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド1月号	497,018円
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド2月号	49,702円
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド3月号	397,615円
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド4月号	12,417円
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド5月号	99,404円
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド6月号	994,036円
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド7月号	397,615円
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド8月号	497,018円
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド9月号	497,018円
ダブルライン・シラー・ケープ米国株式プラス<為替ヘッジあり>	795,387円
ダブルライン・シラー・ケープ米国株式プラス<為替ヘッジなし>	2,485,584円
期末元本合計	49,276,288円

■損益の状況

当期 自2019年7月4日 至2020年7月3日

項 目	当 期
(A) 受 取 利 息 等 収 益	363,856円
受 取 利 息	373,615
支 払 利 息	△9,759
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△372,053
売 買 損	△372,053
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	△8,197
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	203,374
(E) 合 計(C+D)	195,177
次 期 繰 越 損 益 金(E)	195,177

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。